

3月豊橋市議会傍聴記

地方政治
クリエイト
伊藤 秀昭

■保育園義務教育
長坂尚登氏(大好
き会)は保育園落ち
た。日本...で大き
な政治課題になって
きた保育園待機児童
問題をとり上げた。

長坂氏は、古市憲
寿さんの著書「保育
園義務教育化」を長
々と引用し、「保育
園の充実による社
会的効果」を聞いた
ので二問目で「豊橋
市で行うとすれば、
どれだけの費用が
かかるのか」、さら
に三問目で「少子化
の決定打として市
長の決断を求めま

す」と迫るのかと注
目したが、一問目だ
けで終わった。何故
に追及しないのだ
ろうか。

東大卒、32歳に市
民の注目度は高い。
それはまた、時間の
経過とともに「最中
の皮から、中身の「あ
んこ」の検証に入っ
ている。毎回の一般
質問の傍聴者が減っ
てきていることと無
関係だろうか。

■合理的配慮
川原元則氏(無所
属)は4月から施行
される「障がい者差
別解消法」による、
特に教育現場におけ

る取り組みについて
聞いた。

教育長は「ユニ
バーサルデザイン
を取り入れた授業
に取り組み、その啓
発を図っていく」と
答えたが、川原氏は
「これまで以上に障
がい者に合理的配
慮を施すよう」要請

危機管理監は「地
震対策減災プラン」
に従って確実に取り
組み、あらためて本
市の脆弱(せいじゃ
く)性を取り組んで
いくと答えた。

宮澤氏は「風評」
と「風化」の二つの
「風」に全力で戦い、
「強靱(きょうじん)
な国土づくり以上
に、強靱な人間づく
り」を強調し、「ど
んな災害が起きよう
が、犠牲者ゼロをめ

たい。

最中の中身が試されている

「さすべきだ」と主張
したが、納得できる
展開だった。

■魅力創造
尾崎雅輝氏(自民)
は日本遺産の認定申
請に向けた取り組み
について聞いた。

教育部長は豊橋市
では重要無形民俗文
化材の「鬼祭」のほ
か、未指定ながら「手
筒花火」なども候補
として検討し、来年
2月の認定申請に向
け準備していると答
えた。

無形文化財や民俗
芸能の宝庫と言われ
てきた三遠南信地域
に光が当たってき
た。地域力が高まる

とはこういうこと
か。

■情報モラル教育
小学生の3割、中
学生の5割、高校生
のほぼ全員がiP
honeを保有する
時代の恒常的な情報
モラル教育について
質問したのは二村真
一氏(自民)。

教育長は「子ども
の健全育成を阻害す
るものを、大人の責
任で、排除しなけれ
ばならない」と強い
姿勢を示した。

二村氏は「ハード
やソフトの進化に、
大人が遅れていない
か」と警告したが、
歯切れ良い、明快な

質問だった。

■ユニチカ跡地
鈴木みき子氏(共
産)はユニチカ跡地
売却の経過について
1951年に交わし
た契約書を踏まえた
内容にすべしと問題
提起した。

企画部長は「契約
書の取り決めは誘致
の目的を果たすこと
なく、使用計画を放
棄した場合の対処策
を決めたものであり
問題ない」とした。
鈴木氏や3日目の中
西氏の質問を、主義
主張が違っても、議
員の発言する権利を
尊重して、もっと真
摯に聞くべきではな
いか。

■入札制度改革
廣田勉氏(まちな
み)は、1月
に長野県で起こっ
たスキーバス事故
を取り上げ、12年4
月、開越道での高速
ソアバス事故を
受けて、国の基準の
改正が行われ、市の
委託業務でも大幅
にバスの借上げ
単価が上がったが、
これはより適正な
価格に戻ったこと
であると確認し、入
札不調や、低入札
さらには最低制限
価格のあり方にも
言及し、4月から施
行される「公契約条
例」を踏まえ、積極
的な入札制度改革
の必要性を訴えた。
中身のある、議論
の展開だった。